



まちづくり情報サイト

「街元気」は、まちをもっと元気にしようとまちづくりに頑張る人を応援します



Tweet



イベント・メルマガ

研修・オープン会議

学習教材・統計

コラム・事例紹介

タウンプロデューサー

まちづくり掲示板

政策関連情報

このサイトについて

コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > みんなでまちを楽しむ！ -旧グッゲンハイム邸を拠点とする神戸塩屋のまちづくり- (前編) 森本アリさん

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

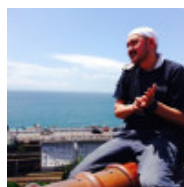
取組事例

地図から検索

みんなでまちを楽しむ！ -旧グッゲンハイム邸を拠点とする神戸塩屋のまちづくり- (前編) 森本アリさん



Tweet



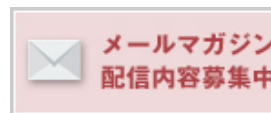
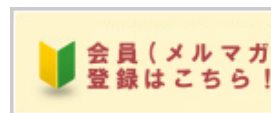
森本アリ (もりもと・あり)

1996年 Ecole de recherche graphique (ベルギー/ブリュッセル) 卒。音楽家。神戸、塩屋の築105年の西洋館「旧グッゲンハイム邸」管理人として、企業や行政とは一味違った管理運営を行う。音楽家として、「三田村管打団?」「ペ・ド・グ」「音遊びの会」などで活動する傍らソロ演奏やワークショップ等も行っている。また、「シオヤプロジェクト」(シオプロ)を主宰し、「塩屋まちづくり推進会」「塩屋商店会」等で、まちづくりに関する活動も行っている。著書に「旧グッゲンハイム邸物語 未来に生きる建築と、小さな町の豊かな暮らし」がある。

神戸市の西部に位置する塩屋は、山と海に挟まれた坂の多い、かつて多くの洋館が建ち並んだ、小さいながらも風光明媚なまちです。

ここでは、毎年11月に「しおさい」という、商店会主催のまちのお祭りが約1ヶ月にわたり開催されています。「しおさい」のフィナーレは、公園、崖の上、路地、橋からビル

「塩屋」の位置





もっと詳しく検索する

の屋上や人の家の庭やバルコニーなど、まち全体をステージに見立て、塩屋ゆかりの音楽家たち30組以上がまちの中で音楽を奏でる「しおや歩き回り音楽会」。音楽会のあとに老若男女、まちのみんなで楽しむ打ち上げが「あとの祭り」というのも洒落ています。

塩屋におけるユニークなまちづくりの推進役となっている森本アリさんにお話をお伺いしました。



どのようなきっかけで、塩屋のまちづくりに取り組まれるようになったのですか。

まちづくりケース集



街元気サイトのポスター



@machigenki

街元気 Facebook

経済産業省

中小企業基盤整備機構

株式会社 全国商店街支援センター

学生時代は、ヨーロッパに留学していました。1995年の阪神大震災も留学中に起きたことなのですが、震災半年後、災害をテーマにした海外制作のドキュメンタリーのお手伝いで日本に戻り、その夏は被災地と過去の災害・戦災の地をクルーの一人として尋ねて回りました。その後、塩屋に戻ってきたのですが、当時の震災の復興のスピードに戸惑いを覚えました。小さな生活が行われていたところに大きな復興住宅が建ち、歴史がある意味、暴力的に塗り替えられる印象を持ちました。

「まちづくり」を意識したのはその頃ですが、昔も今も「まちづくり」という表現には疑問を持っています。「まちこわし」「まちつぶし」も散々に見てきたからです。僕は基本的にまちを残したいだけなので、「つくる」なんておこがましいことを言わず、「まちあそび」「まちいじり」くらいしかしていないつもりです。それはともかく、「塩屋まちづくり推進会」発足前の「まちづくり勉強会」が始まるきっかけだった「塩屋の話をしませんか？」ってビラを見て、妹と友人に誘われて町のことを話し合う集会のようなものに顔を出しました。

当時、僕は、老人は昔のことが好きでノスタルジックなものだと思っていました。それが、結構、進歩的（笑）。ノスタルジックだと思っていた老人から、「現状の塩屋は全然だめだー」「駅前開発だー」「道を広くしろー」というような言動が発せられ、強烈な違和感を覚えました。

僕は、昔も今も、山と海に挟まれ小さな道が迷路のように張り巡らされた塩屋は、車が少なく、そこそこ、いいまちだと思っています。だから、その時に覚えた違和感と危機感が、僕が「まちづくり」に関わるきっかけになっています。





1 2

■ 関連リンク

[森本アリ氏ブログ](#)

[しおや歩き回り音楽会（2016年告知）](#)

[塩屋百景](#)

[旧グッゲンハイム邸](#)

[三田村管打団？](#)

[シオヤプロジェクト](#)

[塩屋商店会](#)

[塩屋まちづくり推進会](#)

[「みんなでまちを楽しむ！ -旧グッゲンハイム邸を拠点とする神戸塩屋のまちづくり-」（後編）](#)

[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）

主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所

Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.



まちづくり情報サイト

「街元気」は、まちをもっと元気にしようとまちづくりに頑張る人を応援します

f シェアする

Tweet

サイトマップ

イベント・メルマガ

研修・オープン会議

学習教材・統計

コラム・事例紹介

タウンプロデューサー

まちづくり掲示板

政策関連情報

このサイトについて

コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > みんなでまちを楽しむ！ -旧グッゲンハイム邸を拠点とする神戸塩屋のまちづくり- (前編) 森本アリさん - 2ページ目

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

みんなでまちを楽しむ！ -旧グッゲンハイム邸を拠点とする神戸塩屋のまちづくり- (前編) 森本アリさん

それを取り組まれたのが、「塩屋百人百景」「塩屋百年百景」ですね。

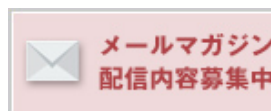
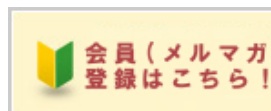
「塩屋百人百景」

「塩屋まちづくり推進会」には発足からかかわるようになったのですが、当時、会議を開いても、出てくるのは「道路整備をどうするのか」という問題ばかり。何か塩屋のまちの魅力を伝える方法はないか、と考えていました。

「好きな塩屋の写真を送ってください『塩屋百景』フォトコンテスト」というものを企画しました。その頃できた、塩屋商店会の事務局であり、コミュニティスペース「しおみちゃんの家」で行われた展示会は盛況でした。でも、もっと今を切り取る企画を、と考えていたら、塩屋在住の展示会の企画をしている友人から、レンズ付きフィルム「写ルンです」を使った催しの相談を受け、タイムリーであったため、それが「塩屋百人百景」に結実しました。

「塩屋百人百景」は、百人に「写ルンです」を配り、自由にまち歩きをしてフィルム1本分27枚の写真を撮影してもらい、現像されたものを展示し、それをカタログ化し販売する、という参加型の撮影会であり、展示会であり、書籍です。

開催にあたり、僕が最初に気をつけたのは、年配のカメラクラブの方々が団体で参加して貴重な百人の大枠が埋まってしまわないこと。「漁港の夕暮れの淡路島と明石大橋のななめショットを皆で並んで」、なんてイメージが浮かんでしまったからです(笑)。当時、僕がねらっていたのは20~30代の文化系女子でした。少し前に流行っていたロシア製のローテクカメラを首から下げていた世代、そして修学旅行で「写ルンです」を使っていた世代。その世代の方が自由奔放な写真を撮ってくれそうだった



Q サイト内検索

検索

もっと詳しく検索する

からです。結局、雑誌での紹介や、僕らの雑貨屋、古本屋などへのチラシ配布等が功をなして10～70代が参加。地元率30%、初めて塩屋に来る人約半数、20～30代女子も約半数。遠く岡山や和歌山から遠出してくださる人たちもいました。

展覧会では、協賛の富士フィルムさんも驚いた高いクオリティの写真を、一人一人の27枚が短編映画のように連なったロールプリントで展示。それらをまとめた書籍は3,000枚の写真を載せているので写真が小さいにも関わらず、写真集として楽しむ人も多く、本屋で委託販売され、図書館の郷土コーナーに置かれるロングセラーとなりました。高低差のある細い道の景色がめまぐるしく変わるまちの写真は、参加者のバリエーションと相まって、2007年冬の塩屋を冷凍保存するような、一つのまちの風景を多角的に切り取る万華鏡のような、とても楽しい写真集になっています。

後に、そのままの同じパッケージングで、ほかのまちでもこの催しが行われました。



※「塩屋百人百景」：左から、撮影会の案内、展覧会の案内、展覧会場

「塩屋百年百景」

次に、取り組んだのが「塩屋百年百景」です。「塩屋百人百景」の展覧会で頂いた、昔の塩屋の絵葉書に大きな興味を持ち、「よしっ、百人の次は百年だ」とチラシを作り、写真を募集しました。歴史のある小学校、幼稚園、旧家も巡りましたが、震災のダメージを受けているまちなので、「捨ててもたわー」「どこにあるかわからへんわー」という人も多く、思うように写真は出てきませんでした。

それでも、集めた写真で「プレ塩屋百年百景」という展覧会を開き、それがメディアに載ったおかげで、塩屋以外の地域から、主に神戸市内ですが、関東からも海外からも写真が送られて来るようになりました。連絡を頂いて家を訪ねると、応接間に山積み of アルバムを用意してくださり、「どうぞ、ご自

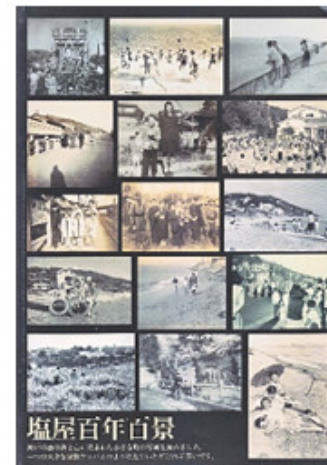


由に～」ということもありました。そういったアルバムには、塩屋の写真はほんのわずかしがなく、大抵は旅行先の写真です。でも、たまに玄関先やお庭で撮った家族写真、地元での散歩や海水浴の写真があります。

それらは、まちが撮られているとはいいがたく、背景にまちが入っている程度なのですが、真ん中に家族の笑顔があるのです。はじめは行政や出版社による「今昔〇〇写真集」的な、今と昔の風景を比較する写真集を考えていたのですが、写真を収集するうちに、徐々に家族写真を主軸にすることに興味が移りました。出来上がった写真集は、「まちをひとつの家族と見立てたアルバム」になりました。

「塩屋百人百景」はその実験的な側面から、まちにきたこともない若者が買っていきようなこともあったのですが、「塩屋百年百景」は塩屋の住人が買い求める写真集になりました。やはり、図書館の郷土コーナーに写真集が置かれているのを見ると、本当に誇らしく思います。この企画を通じて、塩屋での活動がより広い世代に認められるようになりました。そして地元のおばあちゃんたちとの関わりが深くなったのは今でも宝です。

この2つの取組は僕のまちづくりの原点です。これらの取組があったからこそ、まちの中で音楽を演奏する「しおや歩きまわり音楽会」や、塩屋に縁のあるアーティストたちとまちを遊ぶ試み「シオヤプロジェクト」など、ユニークなアートイベントの開催をまちの人たちに受け入れて頂けるようになったと思っています。



■ 関連リンク

森本アリ氏ブログ

しおや歩き回り音楽会（2016年告知）

塩屋百景

旧グッゲンハイム邸

三田村管打団？

シオヤプロジェクト

塩屋商店会

塩屋まちづくり推進会

「みんなでまちを楽しむ！ -旧グッゲンハイム邸を拠点とする神戸塩屋のまちづくり-」（後編）

登録日 2018年3月02日（金曜）00:00

[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）

主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所

Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.



まちづくり情報サイト

「街元気」は、まちをもっと元気にしようとまちづくりに頑張る人を応援します



Tweet



サイトマップ

イベント・メルマガ

研修・オープン会議

学習教材・統計

コラム・事例紹介

タウンプロデューサー

まちづくり掲示板

政策関連情報

このサイトについて

コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > みんなでまちを楽しむ！ -旧グッゲンハイム邸を拠点とする神戸塩屋のまちづくり- (後編) 森本アリさん

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

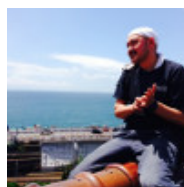
取組事例

地図から検索

みんなでまちを楽しむ！ -旧グッゲンハイム邸を拠点とする神戸塩屋のまちづくり- (後編) 森本アリさん



Tweet



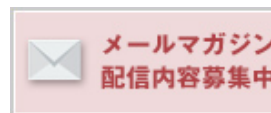
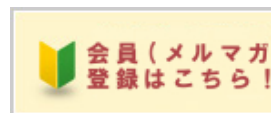
森本アリ (もりもと・あり)

1996年 Ecole de recherche graphique (ベルギー/ブリュッセル) 卒。音楽家。神戸、塩屋の築105年の西洋館「旧グッゲンハイム邸」管理人として、企業や行政とは一味違った管理運営を行う。音楽家として、「三田村管打団?」「ペ・ド・グ」「音遊びの会」などで活動する傍らソロ演奏やワークショップ等も行っている。また、「シオヤプロジェクト」(シオプロ)を主宰し、「塩屋まちづくり推進会」「塩屋商店会」等で、まちづくりに関する活動も行っている。著書に「旧グッゲンハイム邸物語 未来に生きる建築と、小さな町の豊かな暮らし」がある。

アリさんが管理されている旧グッゲンハイム邸についても伺いたいと思います。

旧グッゲンハイム邸は、1912年塩屋海岸を南に望む高台にアメリカ人貿易商グッゲンハイムが自邸として建設したコロニアル様式の建物です。

今でこそ僕が管理人を務め、結婚パーティーやコンサート、各種教室、ロケ撮影などなどに幅広く使われていますが、当初、僕はこの建物を買い

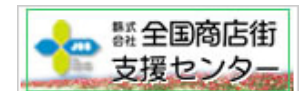
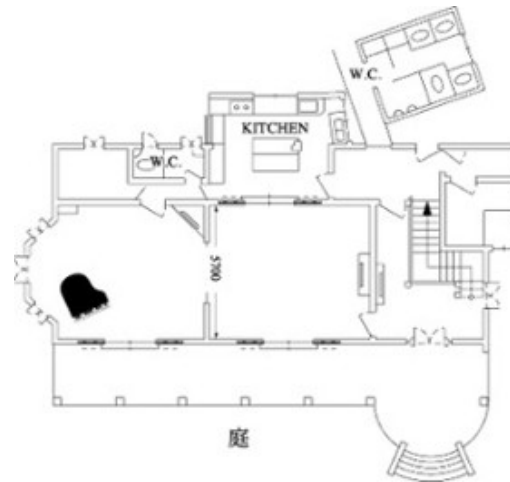


もっと詳しく検索する

取って再生することに家族の中でひとり猛反対していました。月並みですが、行政がやるべきことだというのが僕の主な主張でした。大学で文化資源学を専攻していた妹は利活用に積極的で、ステンドグラス作家の母はこの洋館をアトリエにすることを夢見たことがあり、双方ともに思い入れが深かったのですが、僕は大変なものを背負いこむという重荷しか感じませんでした。そして、侃々諤々の家族会議の末、2007年に一家の私財を投げうって購入、保全・維持することになったのです。

旧グッゲンハイム邸のこけら落としは妹の結婚式でした。それまでにある程度の修繕をプロの手を借りて行い、出来る部分は手弁当でも行い、妹の結婚式は無事に開催することができました。とはいえ、最初のうちはなかなか利用されませんでした。

転機になったのは、クラムボンの原田郁子さんと三田村管打団？との録音の話が盛り上がり、彼女が洋館に滞在し、その空気が色濃く反映されたアルバムが作成されたことでした。アルバム発表後のツアー日程の5月の一番いい週末に開催されたコンサートに、多くの観客や、会場に興味津々の関係者が訪れ、この時のお客さんと関係者から利用者がでてきました。僕自身も自信をつけ、「塩屋音楽会」という屋号を設け、いくつものコンサートを企画し始めました。それから幅広い利用が入るようになり、今では週末は半年先まで埋まっていたりします。



旧グッゲンハイム邸の裏手にある長屋もとても大事です。これは、以前の持ち主が従業員寮として建てたプレハブの建物を利活用したシェアハウスです。僕は、元々、旧グッゲンハイム邸の所有については大反対でしたが、一見値打ちの低いこのプレハブを自由に使い、若者が住み集う建物として再生させることにはワクワクしました。ヨーロッパ留学時代に、学生たちが一軒家をシェアし、DIYでリノベーションを施し、独自のルールを定めて共同生活を送るということを身近に体感していました。

口コミで住人はすぐに埋まり、彼らとそれぞれの部屋を修繕しました。しかも入居者の半数以上が、吹けないのにトランペットを持っているというおまけが付いていたため、吹けないトランペット吹奏集団「ペ・ド・グ」も結成されました。多い時にはメンバーが15人にもなり、その全員がトランペット。吹けない奇様な楽団として大きなフェスにも呼ばれるようになりました。結成から十年を迎えて、元住人の子連れでの参加も増え、楽団自体が1つのコミュニティと化しています。

長屋の元住人には、現在旧グッゲンハイム邸のスタッフとして参加している小山くん、塩屋商店街にワンダカレーを開店した松田くん、さらにピザ屋AKIRATSCH（アキラッチ）を開店した大川くんがいます。新しい取組や個性的な店舗をもたらすという意味で、彼らは塩屋のまちの小さな革命を続けています。

私たち家族が5年間、住宅として使用した事務局棟も、友人たちの要望に応じてシェアオフィスとなりました。塩屋商店会や、僕たちの文化的「まちあそび」を促進する団体「シオヤプロジェクト」の中核を担う、編集者の山森さん、グラフィックデザインの藤原さん、さらにイラストレーター、写真家も在籍し、ちょっとした編集プロダクション状態です。そのほぼ全員が、近隣からも含めれば移住者です。

塩屋を訪れ、移住する人も増えてきました。特に子育て世代からは車の少ない子供が道の真ん中を歩いても安心できるまちとして気に入られています。再生した旧グッゲンハイム邸と長屋が、まちのコミュニティ活動を支える拠点となったことが、こうした新しく塩屋を訪れ、住まう人を増やすきっかけのひとつになったのはとても喜ばしいことです。

長屋の住人が引っ越しする際に行われる「朝ごはんの会」





1 2

■ 関連リンク

[森本アリ氏ブログ](#)

[しおや歩き回り音楽会（2016年告知）](#)

[塩屋百景](#)

[旧グッゲンハイム邸](#)

[三田村管打団？](#)

[シオヤプロジェクト](#)

[塩屋商店会](#)

[塩屋まちづくり推進会](#)

「みんなでまちを楽しむ！ -旧グッゲンハイム邸を拠点とする神戸塩屋のまちづくり-」（前編）

登録日 2018年3月09日（金曜） 00:00

[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）

主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所

Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.



まちづくり情報サイト

「街元気」は、まちをもっと元気にしようとまちづくりに頑張る人を応援します



Tweet



イベント・メルマガ

研修・オープン会議

学習教材・統計

コラム・事例紹介

タウンプロデューサー

まちづくり掲示板

政策関連情報

このサイトについて

コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > みんなでまちを楽しむ！ -旧グッゲンハイム邸を拠点とする神戸塩屋のまちづくり- (後編) 森本アリさん-2ページ目

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

みんなでまちを楽しむ！ -旧グッゲンハイム邸を拠点とする神戸塩屋のまちづくり- (後編) 森本アリさん

最後に、最近の取組とこれからやってみたいことをお聞かせください。

去年は、「旧グッゲンハイム邸物語」というこの十年を振り返る本を出版しました。

さらに「シオヤプロジェクト」として塩屋にゆかりのあるクリエイター達と進めてきた、「まちあそび」「まちいじり」をまとめた「塩屋借景」を出版しました。これは様々な分野で活躍する彼らの視点を借りて、海、山、坂、階段、暮らす人たちなど、塩屋のまちの輪郭や表情を眺め、まちの奥行きを体感できる「えっ、これ全部塩屋？」という驚きに満ちたアート本です。

今年は、「シオヤプロジェクト」で数年かけて進めてきた「しおやかると」の完成と、これも長く取り組んでいる「塩屋音頭」の音頭保存会のレジェンド達の録音と小冊子の制作、さらに私たちの手による「新・塩屋音頭」の制作を行う予定です。

最近、書籍もののアイデアは毎日出てきます（笑）。昨日、考えていたのは、最近のイベント「尾道×塩屋」で双方のまちがキーワードにしていた「斜めデフォルト」。これは、塩屋にあるのは、ちょっとびっくりするぐらい床が傾いている家、階段など、斜めのものばかりで、水平なものなんてない（笑）、という事象をまとめた本。あと、塩屋の古家の

ログイン

会員（メルマガ）登録はこちら！

メールマガジン
配信内容募集中

マチイベ！
-街のイベント-
掲載依頼募集中

サイト内検索

検索

もっと詳しく検索する

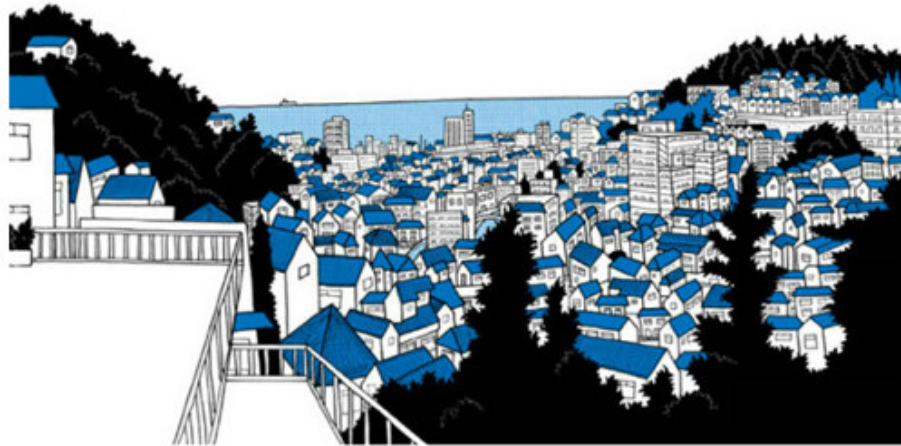


リノベーションがあまりに面白い上に、事例もとても多いのでこれもまとめられないかな～「塩屋古家再生」とか「シオヤスタイル」とかってタイトルで（笑）。長年、「塩屋百想（窓）」というのも温めています、これは温め続けます。

いろいろとやってきましたが、最近は状況の変化も感じます。評判を呼んだ「しおや歩き回り音楽会」は、参加者が増え、細い道を主とする、まちのスケールを越えてしまいました。僕自身、いろいろと忙しくて、以前のような作業時間をとりにくくなってきています。そうなる、今は尚更、旧グッゲンハイム邸周辺の整備に集中したくなっています。

埋められてしまった井戸の復活や、庭の治水・整備などの土木作業をもっとやりたい。一緒にやっている仲間達がそれぞれ独自の活動を広げているので、僕はちょっと表舞台から引っ込んで、旧グッゲンハイム邸とその周辺整備に力を入れたいですね。

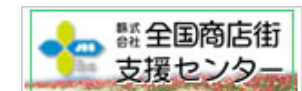
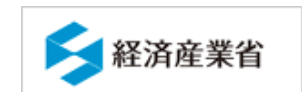
といいつつ、色々ともちのことでござんやばっちゃんだろうなあ（笑）。



イラスト：SHIOYA DAY グレアム・ミックニー

編集後記

関連リンクのyoutubeの映像を見ていただくとわかるのですが、冒頭で紹介した「しおや歩き回り音楽会」は、とても不思議な魅力を持ったイベントです。まち歩きをしながらみんなで楽しむ、



塩屋のまち全体をステージとする音楽会。アリさんがねらう「まちあそび」の面白さが伝わってくるように思います。

また、まちなかでこれだけの音楽イベントを開催しても、騒音等への苦情がほとんどないということも驚きです。住民に対する事前説明は当然やっているそうですが、むしろ「塩屋百人百景」、「塩屋百年百景」等の取組を積み重ねることにより、だんだんに住民に受け入れてもらえる素地が醸成されてきたという説明に納得感を覚えました。地元のおばあちゃんと仲良くなれたことが大きかったというのも頷けます。

最近では、以前より多くの方が塩屋を訪れ、塩屋に居を構えるようになり、アリさんたちの仲間達が独自のクリエイティブな活動を行うことも増えているそうです。先日は、「尾道×塩屋」という海と坂が特徴的な地域つながりのコラボも開催されました。人材と取組が厚みを増す中で、これから塩屋でどのような「まちあそび」が展開されるのか、今後の企画にも注目したいと思います。



関連リンク

[森本アリ氏ブログ](#)

[しおや歩き回り音楽会（2016年告知）](#)

[塩屋百景](#)

[旧グッゲンハイム邸](#)

[三田村管打団？](#)

[シオヤプロジェクト](#)

[塩屋商店会](#)

[塩屋まちづくり推進会](#)

[「みんなでまちを楽しむ！ -旧グッゲンハイム邸を拠点とする神戸塩屋のまちづくり-」（前編）](#)

[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）

主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所

Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.